

平成26年度 第1回 千曲市林業振興協議会

平成26年4月16日（水）

14時00分～15時25分

上山田庁舎302会議室

第12回千曲市林業振興協議会

千曲市林業振興協議会出席委員

長野森林組合	更埴支所長	春日 賢一
NPO法人 千曲の森	理事長	唐澤 伊和男
若宮、羽尾、須坂、上徳間、	内川、千本柳財産区	
	議長	塚田 勝壽
ちくま農業協同組合	営農経済部長	宮坂 直隆
区長会連合会更埴支部	倉科区長	杉本 一三
〃 戸倉支部	仙石区長	島谷 義男
〃 上山田支部	八坂自治会長	宮原 功
鳥獣保護委員	鳥獣保護委員	山崎 文典
千曲市環境市民会議	運営委員	神尾 雄二
みどりの少年団育成会	更級小学校長	山崎 一男
一般公募		唐木 恵美子

欠席委員

長野地方事務所	林務課長	河内 孝
千曲市建設業協会	理事	本保 雅規
一般公募		小林 正昭
一般公募		柳澤 信子
一般公募		小松 たつ子

出席職員

長野地方事務所林務課	森林保護専門員	神原 博明
千曲市	経済部長	平林 昌男
	農林課長	北島 正光
	森林整備係長	中村 信也
	森林整備係	橋立 慎太郎
	〃	五十嵐 健二

《会議の経過》

- 北島課長 定刻となりましたので、ただいまより第12回千曲市林業振興協議会を開催いたします。
それでは、次第に従いまして進めさせていただきます。
まず初めに、唐澤会長よりあいさつをいただきます。
- 唐澤会長 会長の唐澤と申します。よろしくお願いいたします。第12回千曲市林業振興協議会ということで、ご案内申し上げましたが、何かとお忙しい中ご出席をいただき、誠にありがとうございます。
次第に沿いまして、円滑に会議が進行されますようご協力をお願いいたします。
- 北島課長 ありがとうございます。
続きまして、年度初めでございますので、自己紹介をお願いいたします。
はじめに春日委員さんから右回りにお願いいたします。
- 自己紹介 **【委員 自己紹介】**
- 北島課長 ありがとうございます。続きまして、長野地方事務所よりご出席をいただいておりますので、自己紹介をお願いします。
- 自己紹介 **【長野地方事務所 自己紹介】**
- 北島課長 ありがとうございます。続きまして、事務局より自己紹介をいたします。
- 自己紹介 **【事務局 自己紹介】**
- 北島課長 それでは、協議事項に入りますが、千曲市林業振興協議会要綱第4条第2項により、会議の会長は会の議長となると規定がございますので、唐澤会長に議長をお願いいたします。また、副議長を副会長の唐木委員にお願いします。
- 唐澤議長 それでは、協議事項に入ります。
(1)平成26年度事業予定について、事務局より説明をお願いします。
- 中村係長 **【資料に沿って説明】**
- 唐澤議長 議案(1)につきまして、事務局より説明がありましたが、これにつきまして、何か質問等ございますか。

(声なし)
- 唐澤議長 質疑等ないようですので、次へ進めたいと思いますがよろしいでしょうか。

(はい)

唐澤議長

それでは、議案(1)につきましては終了いたします。

続きまして、議案(2)千曲市における今後の松くい虫防除対策についてを議題といたします。

事務局より説明をお願いします。

中村係長

【資料に沿って説明】

唐澤議長

先般の説明会等の内容も踏まえての説明がありましたが、春日委員より順番に一人ずつご意見をいただきたいと思えます。

〇〇委員

千曲市内を見回しても、非常に松くい虫被害が拡大しており、山を守る立場の人間としては、非常に残念だなと思えます。対策としては、空中散布・伐倒駆除・樹幹注入など色々な方法がありますが、あらゆる手段を使って対応していかなくてはならないと思えます。農薬に対する心配についても、空中散布だけが農薬を使っているわけではなく、果樹など作物を作る農家もそれぞれ農薬を使いながら生活をしています。自動車の排気ガスなど、それぞれが複合的に環境に影響しているのが現状だと思います。色々な面がありますが、この自然を守っていくには、複合的にあらゆる手段を講じて対応してゆく必要があると思えます。

〇〇委員

私も、森林を預かる立場としては、森林は木材的な価値はもちろんですが、私たちが何気なく吸っている空気や二酸化炭素の問題、温暖化防止、治山治水についても森林は非常に役立っているものです。

同じ議論を毎年繰り返しているのですが、森林の恩恵を考えていただき、ベターな方法で森林を守っていただければと思います。

〇〇委員

今回のお話をお聞きして、こういったご意見があるのかと改めて確認させていただきましたが、ネオニコチノイドも含め、農薬全般については、当然国の基準に基づいて、製造・販売・使用がされています。農薬の登録においては、人体への影響が一番大きなクリアすべきハードルとして設定されています。空中散布説明会の中で、EU と日本の基準の比較についてのご意見がありましたが、日本の基準はグローバル的に見ても非常に高いものとなっているはずですが、EU の場合は、どちらかというと施設園芸が多いため、施設の中での内容となっておりますので、科学構成農薬を使用しなくてもできる状況ですが、それ以外の農業では当然農薬は必要となってきます。今回は松くい虫対策ということですが、農業生産全般に対しこの問題を訴えられると、何もできなくなってしまうのが現状ですので、農薬全般について、安全性をかなり高めた中での農薬基準となっていると感じます。

話は少しそれますが、こういった農薬に関することよりも、今話題になっているTPP で、輸入自由化になったために、何でもありの国から入ってきた品物が食卓に並ぶ方が心配されるように感じます。

〇〇委員

山を見てもらえばわかりますが、松がたくさん植栽された場所は、山がやせた土壌で日焼けの土地です。この木が松くい虫により被害がでると、雨が降れば土は流れてしまいます。伐倒駆除などをやっていけばある程度次の植生が出てくると思えますが、あの上までは、大風でも木が倒れてしまい、地面に穴が空き、そこから土砂崩れの心配があります。私の地元の山は県の砂防地域に

指定されており、自分の山の木を勝手には切れず、県知事の許可が必要となります。砂防地域ということですので、県もたくさんの費用を費やして、山肌の岩を固定しています。松が元気であれば、ある程度の砂防の役割を果たしてくれます。その松を元気にするためには、樹幹注入などの方策もありますが、費用的な問題もあります。一番安くできる方法は、空中散布ということです。私も区長として、災害が起きてもらっては困ります。荒れた山を守るには、松を守っていくしかないと思います。空中散布については、これ以外の手段がないと思います。私としてはほぼ賛成の立場です。

〇〇委員 空中散布について、結論的に申しますと、賛成です。ただ、どういった薬剤を使って、どういった害があるのかなどについての情報を載せるなどしていただければと思います。私の地区もかなり松くい虫被害があり、空中散布や伐倒駆除などをさせていただいておりますが、坊城平のあたりで、被害木の伐採をさせていただいたところがあるのですが、その伐採の影響で、昨年大雨の時に、下まで土石流がかなり流れてきてだいぶ荒らされたこともありますので、伐採についても考えなくてはならないと思います。できれば空中散布を早い段階でやっていただいた方が良いのかと思います。

〇〇委員 空中散布については風の少ない時にやる必要があると思います。人間は風邪を引けば風邪薬を飲み、血圧が高ければ血圧の薬を飲んでおり、松も松くい虫により枯れ始めたら空中散布が必要なのではと思います。

〇〇委員 結論から言えば反対ですが、明科や安曇野では、被害木を全部切ってしまうてしまい、材として使えるものは使うようです。また、このあたりでいうと、上山田は割と松くい虫の被害が少ないように感じます。坂城の自在山の南側などは松枯れ被害が大きく、やっぱり空中防除のおかげかなとも思うのですが、健康や昆虫や鳥への影響があるのではという心配があります。空中散布という方法ではなく、被害木を全て切っていくなどにより対応できないかと思います。

〇〇委員 昨年から委員になりましたが、3/8 の信毎に記事が載りびっくりしたのですが、上田市は2万3千519㎡の被害量となっており、昨年10月の写真を見ると、太郎山が真っ赤になっていました。千曲市はそういった個所は少ないように感じます。空中散布の効果なのかと思うのですが、私もどちらかと言えば、空中散布は良くないと思うのですが、上田市の状況を見ると異常ですから、前回の協議会でも、市の説明において、風速や、民家からの距離など、なるべく配慮をして、一本一本切って処理するなど、そちらの方にも力を入れてもらって、なるべく空中散布によらない方法も検討しながら進めていただきたいと思います。

〇〇委員 私の立場として結論から申しますと、必要最小限にとどめていただきたいと思います。健康被害ということで、発達障害との関連についてご意見がありますが、その根拠となるような統計的な資料とか、事例だとかについて、上田市だけでなく、全県的・全国的なところで因果関係を認めて空中散布をやめているところがあるのかどうかなどについても、資料がないので、健康被害などの意見書についても、その妥当性についてしっかり研究していただきたいと思います。ただ、発達障害の子どもは確かに年々増えており、学校現場は混乱しているのは事実であり、授業にならないクラスもあります。それが空中散布に結びついているのかどうかについてはわかりませんが、こういった心配をしている方

がいる以上はそういったところにも配慮していく必要はあるかと思えます。

〇〇委員

薬剤散布に対し、内容を見ると恐ろしい内容もあり、不安な方もたくさんいるんだなと感じました。最初は散布をしたら、次の年から松は枯れないのかなと思っていたのですが、被害量はあまり減っていないようですし、散布することで、すぐに効果が出ているようには見受けられないのかなと感じました。

また、マツノマダラカミキリについて、背の高い木に好んで付くという話を聞いたことがあるのですが、大きくなった木に付くのであれば、そういった木を若い木に植え替えるなどして、松くい虫が付かないようにするなどの必要があるのではと思いました。

唐澤議長

高齢化したマツには虫が入りやすく、若い松は病気にかからないというのはあると思います。虫は光に向かって飛ぶ性質があり、また、標高600m以下で松枯れ被害があると言われていました。高速道路などの開通なども影響があると思われま。

〇〇委員

山の中のマツでも、低いマツでも松枯れは起こります。

唐澤議長

みなさまからの意見をお聞きしましたが、事務局より補足説明があるようですので、よろしくお願ひします。

中村係長

別冊資料「松くい虫防除対策事業 薬剤空中散布説明会 次第」について概略説明。

空中散布に関わる申出書については、現時点では申し出はありませんでした。

唐澤議長

ありがとうございます。続きまして、地方事務所より補足説明がありましたらお願ひします。

地方事務所林務課
神原専門員

お手元にお配りした、「長野県の松くい虫被害と対策実施状況について」に基づいて、長野県全体の松くい虫の被害について説明させていただきます。

1ページ目をご覧ください。平成25年度の被害状況ですが、まだ全県の統計が取れてなく、12月末現在の統計となっております。12月末現在で7万㎡ということで、この時点で平成24年を上回っており、平成25年度は最高の被害量となると見込んでおります。どうして平成25年度が増えたのかということですが、2ページをご覧ください。気象要件ということで、平均気温と平成25年度の状況を比較した表がございますが、平均気温が例年より高かったことがわかります。気温が高いと、マツノマダラカミキリの活動期間が長くなり、松に材線虫を移す期間が長くなったことが原因であろうと考えられます。全国的に見ても長野県は3番目の被害量となっており、毎年全県でたくさんの予算を投入して処理しているわけですが、松くい虫対策につきましては、媒介者であるマツノマダラカミキリの繁殖力と、病原体であるマツノザイセンチュウの分散力が非常にマッチしており、被害の根絶はなかなか困難な状況です。長野県は冷涼な気候で、市町村でも一生懸命対応しているのですが、伐倒駆除している時に枯れず、伐倒駆除作業完了後に遅れて枯れていくようなものなど被害木の見落としは出てまいります。そこから、被害が広がっていくということもあるので、どうしても空中散布で、被害を広げない方法を取らざるを得ないと考えております。

先ほどの話がありました、安曇野市の明科の件ですが、松枯れの多い山ではいわゆる更新伐により、松を全て切って広葉樹へ転換する方法をとっています。これは住民の皆さんとの話し合いの中で判断されたことです。また、塩尻市で発電施設を作っているのですが、2年後くらいに稼働すると思えますが、そこ

での発電用のチップ材料としての需要を見込んでいる部分もあるかと思いません。伐採木の売り先がないと費用的に困難な部分もありますので、いずれにしろ地域の皆さんとの話し合いが必要になると思います。

それから、先ほど心配されておりました、環境影響調査の結果についてですが、長野県も林野庁から委託を受けまして、平成24年から3年計画で調査しています。どの地点においても評価値以下ということでしたので、問題はなかったと認識しております。また、昆虫などへの心配の話がありましたが、昆虫類についての影響の調査もしており、その結果につきましては、散布した所としていない所での有意な差は見られませんでした。

上田市の事例が取り上げられましたが、丸子町向かいの東山と呼ばれている地域では、平成15年まで空中散布が行われておりましたが、平成16年からやめております。その結果、何本という具体的な数字ではありませんが、空中散布中止前に勤務していた職員から、中止してから被害が目立ってきたという話を聞きます。また、上田市はその後60haほど実施していましたが、地域住民からの反対意見もあり、平成21年からは空中散布をやめました。その際、薬剤空中散布と健康被害の因果関係を認めた訳ではなく、健康被害を訴えられた方がいる以上、因果関係が全くないと言い切れないからやめたと聞いています。また、上田市では、空中散布をやめた個所については、地区の方との約束で全量伐倒駆除をしておりますが、駆除量は年々増えています。いずれにしろ、国の定めた基準に基づき、安全に配慮した形で進めていくことが必要だと思います。

唐澤議長

ありがとうございました。今後も有益な資料などありましたら、委員や関係地区にはお示ししていく必要はあるかと思っておりますので、よろしくお願ひしたいと思います。

〇〇委員

質問があるのですが、県の資料の被害量の数字のとらえ方についてですが、この被害量は、空中散布をした箇所だけではなく、千曲市であれば千曲市全体の被害量が載っているということでしょうか。防除している箇所の被害量のデータを取っているということではないということでしょうか。

中村係長

千曲市全体としての数字です。

〇〇委員

わかりました。

唐澤議長

アカマツの面積や、樹齢によって被害量は違ってくると思います。先ほどの四賀村など松茸が盛んな場所などに私も行くのですが、もう松茸山も終わりだなと感じました。夏の猛暑などが続くと、虫の影響で松枯れの進行は早くなると感じます。現在松林を見ても、需要とされる木になっているかと言えば、用材木としての価値としては少ない気がします。そういった面でも、木の需要が減り、山への関心が減ってきており、余計に山が荒れていくのではと感じております。

平林部長

色々なご意見をいただきましてありがとうございます。いただいたご意見にもありましたが、松くい虫が原因により松が枯れているのは事実だと思っております。お配りした資料にもありますが、色々な方のご意見はあるわけですが、基本的には、何とか山を守っていかなくてはならないので、必要最小限の中で有

効な手段を講じていかななくてはならないと思いますので、今回いただきましたご意見を参考にしながら進めていきたいと思ひます。今のところは予算化もされておひ、実施の方向で考へておひますが、地域の皆様方への周知などさらに配慮しながら進めていく必要があると感じました。

本日は貴重なご意見ありがとうございました。

唐澤議長

松くい虫防除対策については、空中散布は必要最小限に留めてという意見がございましたので、既に予算化もされているということですが、予算化されているから良いかということではありませんが、今後進めていくにあたっては、協議会の中でも意見があったように、健康被害などについても十二分に周知徹底するなかで進めていただければということによろしいでしょうか。

その他何かございますか。

(声なし)

唐澤議長

特に質問等ないようですので、次に進めさせていただきます。

唐澤議長

つづきまして、(3)その他についてですが、事務局より何かありますか。

中村係長

特にございません。

唐澤議長

その他としては特にないようですので、以上で、協議を終了いたします。ここで、正副議長を降ろさせていただきます。ご協力ありがとうございました。

北島課長

唐澤会長、ありがとうございました。

続きまして、5.その他についてでございますが、こちらにつきましては、事務局で進行を務めさせていただきます。初めに長野地方事務所林務課様よりお願いいたします。

地方事務所林務課
神原専門員

長野地方事務所よりお知らせがございます。先ほどお配りしました資料の一番最後のページをご覧ください。

信州山の日が7月の第4日曜日に制定されました。今年度は、信州の山新世紀元年ということで、山に関する様々なアピールをしていこうと取り組んでおります。その一環として、信州の山に関する様々な取り組みを発信していこうと考へております。つきましては、各地域で行われている植樹祭や市民体験教室などの市民向けのイベントなど山に関するものであれば何でも構いませんので、県庁へ情報をお知らせいただければ一括して全国的に発信いたします。千曲市でもこういった取組がございましたら、情報をお寄せいただければと思ひますので、よろしくおひします。

2点目ですが、2年後の平成28年度に全国の植樹祭が長野県で開催されます。ただいま、県では植樹祭のテーマを募集しているのですが、県民の皆様からの応募より県外の方からの応募の方が多いのが現状です。せつかく長野県で開催される植樹祭ですので、ぜひ県民の皆様からの募集をいただきたいので、よろしくおひいたします。以上です。

唐澤会長

信州山の日は7月の第4日曜日ということですが、全国の山の日は8月11日で現在進んでいるということです。

北島課長

ありがとうございました。続きまして、事務局より、千曲市森林整備計画につ

いてご報告をさせていただきます。

中村係長 **【資料に沿って報告】**

北島課長 続きます、(3)第8回みんなで育てる協働の森づくり日程についてお願いします。

中村係長 **【資料に沿って説明】**

北島課長 ありがとうございました。
その他(1)から(3)につきまして、何かご質問等ございましたらお願いします。

(声なし)

北島課長 ご質問などないので、以上で本日の日程は終了させていただきます。
本日は長時間にわたりご協議をいただき有難うございました。
(15:25終了)